

単元名：Unit 5

My Summer Vacation

(全6時間扱い中 第2時)

授業日時 2019年9月4日(水) 第2校時

授業学級 5年東組

授業会場 5年東組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

児童は、“I went to～”や、“What did you do?”、“I ate/saw/enjoyed～”やその他知っている表現を活用しながら、夏休みに出かけ先で何をしたのかを友達とやり取りをすることができる。

(2) 授業のポイント

- ・教師の夏休みの思い出を一緒に振り返り、ワークシートで自身が夏休みに行った場所を振り返り、友達と行った場所を伝え合う場面で、友達が夏休みに行った場所を知った子ども達が、今度は行った場所で何をしたかを知りたい気持ちになった。【前時までの子どもの様子】
- ・友達と夏休みの思い出をやり取りすることを通して、“What did you do?”や“I ate/saw/enjoyed～”の表現を使う。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. アーロン先生と small talk をする。	○ “I went to PTA バザー. Did you go there?” ◎ yes! ◎ 「〇〇買ったよー。」	2
	2. 教師の夏休みの思い出を見る。	○ “I’ll introduce my summer vacation.” ◎ 「これどこ?」「綺麗!」 ◇紹介する中で、“went”と“ate”、“saw”, “enjoyed”を使用する。 ◇適宜日本語を使用する。 ★パワーポイント	8
	3. アーロン先生と教師のやりとりを見る。	○ 「アーロン先生は夏休みにどこに行ってたっけ?’ ○ “What do I say next?” 「例えば、日本語の会話だったら今のは、『夏休みどこに行ったの?』『～～行ったよ。』『いいね。』(児童とやり取りして確認)だよ。『いいですね。』って思うなら、次何聞くなあ。(意図) 子供が普通の会話ならこの後には何をしたか、という問いが続くことに気づくため。 ◎ 「そこで何したか!」「what のやつだ。」「where とは違うのかなあ。」	5
	【today’s goal】夏休み中にどこで何をしたかを友達とやり取りしてみよう。		
展開	4. もう一度アーロン先生とのやり取りを見て、会話を継続させるにはどんな表現が使えるかを聞く。	○ “What phrases or words can we use? Listen carefully.” 「会話を長く続けるために、先生たちなんて言っているか、よく聞いてね。」 ◎ 「What…何とかって言ってる。」「答えるときはい	8

	5. 夏休みの内容をワークシートに書く。	ろんなのがあったよ。」「前の時間では、最後は “It’s good!” だったけど、今回は “It’s nice!” だった。」 ◇児童が気づかない場合は、気づいてほしい単語を強調して言う。 ◇締め言葉である “It’s ○○.” のバリエーションについてもいくつか紹介する。 ◇黒板上の拡大版のワークシートを使用し、児童と一緒に書き進めていく。 ◇適宜日本語を使用する。 ★ワークシート、黒板上の拡大版ワークシート ○ “Let’s write about your summer vacation.” ◎ 「何かを見た場合は何を使うんだっけ。」「二つ以上書いてもいいのかな。」「スイミングを楽しんだ場合は enjoyed でいいのかな。」 ◇黒板上の拡大版ワークシートを使用して、アロン先生とやり取りをしながら例を示す。 ◇適宜日本語を使用する。 ◇時間を取った後、数人の児童とやり取りをして確認をする。	8
	6. 周りの友達と夏休みの思い出についてやり取りをする。	★ワークシート、黒板上の拡大版ワークシート ○ “Let’s talk about your summer vacation with friends.” ◇始める前に今日学習したフレーズや単語をもう一度復習する。 ◇適宜日本語を使って指導する。	5
	7. 教師と small talk をして夏休みの話をする。	○ “Please tell me your summer vacation!” ◎ “I went to Hokkaido.” “I enjoyed swimming.” “I saw sea” “I rode the Big Thunder Mountain.” ◇なるべく対話後に質問を返す。 ◇児童が発した英文をもう一度自然に繰り返す。	3
	8. 本時のまとめをする。	○ “Today, what do you study?” 「今日のまとめを各自してみよう。」 ◎ 「何をしたかを聞くには “What did you do?” ！と聞けばいいことが分かった。」「もっとやったことを英語で話せるようになりたい。」「誉め言葉にもいくつか種類があることが分かった。」	4
終末	9. 本時の振り返りをする。	○ “Let’s write your reflection.” 「分かったこと、疑問に思ったことなどを書いてみよう。」	2
	【評価（対象）】本時で学習した表現やその他知っている表現を活用しながら、夏休みに出かけ先で何をしたのかと友達とやりとりをすることができる。（ワークシート）		